

経済水道委員会

説明資料

名古屋ポストン美術館の運営状況について

平成27年12月25日
市民経済局

目 次

頁

1 名古屋ボストン美術館の概要	1
2 運営の状況	3
3 今後の課題	8
参考 施設の活用	8

1 名古屋ボストン美術館の概要

(1) 経緯

年 月	経 緯 等
平成 3年10月	・名古屋商工会議所から名古屋ボストン美術館の設置場所について、協力依頼
平成 3年11月	・名古屋商工会議所内に「名古屋ボストン美術館設立準備委員会」が発足
平成 5年10月	・名古屋商工会議所及び準備委員会から名古屋市・愛知県に対し、名古屋ボストン美術館設立に関する財政支援の要請
平成 7年 3月	・名古屋市会において、名古屋ボストン美術館の運営財団の基本財産及び経営安定化基金への出捐金予算を議決
平成 7年11月	・財団法人名古屋国際芸術文化交流財団の設立
平成 7年12月	・財団法人名古屋国際芸術文化交流財団と米国ボストン美術館との間で、名古屋ボストン美術館の設立契約を締結
平成 8年 1月	・財団法人名古屋国際芸術文化交流財団と名古屋市との間で、経営安定化基金に関する覚書を締結
平成11年 2月	・財団法人名古屋国際芸術文化交流財団と名古屋市との間で、公有財産有償貸付契約を締結
平成11年 4月	・名古屋ボストン美術館開館
平成18年 2月	・名古屋商工会議所及び財団から名古屋市・愛知県に対し、名古屋ボストン美術館の運営に関する財政支援の要請
平成18年 3月	・財団法人名古屋国際芸術文化交流財団と米国ボストン美術館との間で、名古屋ボストン美術館の運営に関する契約書を締結
平成18年 5月	・財団法人名古屋国際芸術文化交流財団と名古屋市との間で、名古屋ボストン美術館の運営に関する覚書を締結
平成23年 4月	・公益財団法人へ移行

(2) 内容

区 分	内 容
運営団体	公益財団法人名古屋国際芸術文化交流財団
県・市の負担	基本財産：4億円のうち、県・市各1億円 経営安定化基金：30億円（県・市各15億円）
経済界の負担	基本財産：4億円のうち、2億円 運用財産：110億円 当初 44億円 追加 31億円 再追加35億円
契約期間	平成31年3月31日までの20年間
事業内容	① 名古屋ボストン美術館の運営を通じて、愛知県民に米 国ボストン美術館の世界的コレクションや国内美術館 の名品を鑑賞する機会を提供する事業 ② 愛知県民に対して国際的な芸術文化に接する機会を提 供する事業 ③ 愛知県の地域文化の振興を図るため、シンポジウム、 講演会等を開催する事業 ④ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(3) 名古屋ボストン美術館の運営に関する覚書

締結日	平成18年5月10日
内 容	① 名古屋市の出捐による経営安定化基金を取り崩す場合、限 度額を10億円とする ② 取り崩しに当たっては、経済界からの寄付金を原資とする 運用財産を先に充当し、その後経営安定化基金の取り崩し を行う ③ 名古屋ボストン美術館が行う企画展について、財団法人名 古屋国際芸術文化交流財団は、名古屋市民のニーズを踏ま え展示のテーマ及び作品を決めるとともに、多くの来場者 につながる展示の工夫をする ④ 新たな財政上の支援要請があっても、これ以上の支援を行 わない

(4) 覚書への対応

- ・市民ニーズを取り入れるために各メディア、美術館関係者等で構成される「企画展検討委員会」を設置
- ・契約期間満了の平成30年度までの事業実施に目処

2 運営の状況

(1) 企画展入場者数の推移

展覧会名	会期	入場者数
「モネ・ルノワールと印象派の風景」	平成11年4月17日 ～平成11年9月26日	448,031
「岡倉天心とボストン美術館」	平成11年10月23日 ～平成12年3月26日	123,332
「母なる大地の声 アメリカ・サウスウエスト・ プエブロインディアンの美術」	平成12年5月30日 ～平成12年10月9日	54,060
「レンズがとらえた20世紀の顔 カーシュ写真展」	平成12年10月31日 ～平成13年2月25日	58,255
「紅茶とヨーロッパ陶磁の流れ」展	平成13年3月31日 ～平成13年7月22日	60,214
「ピラミッドの時代」展	平成13年9月15日 ～平成14年2月3日	70,191
開館3周年記念「ミレー」展	平成14年3月16日 ～平成14年9月1日	155,503
「アジアの心、仏教美術展」	平成14年10月5日 ～平成15年2月16日	38,235
「ボストンに愛された印象派」	平成15年4月26日 ～平成15年11月9日	103,092
「デューラー版画展」	平成15年11月22日 ～平成16年3月21日	31,727
「ドラクロワからムンクまで」	平成16年4月17日 ～平成16年9月12日	82,760

展覧会名	会期	入場者数
「オキーフとその時代」	平成16年10月2日 ～平成17年2月20日	36,200
「ボストン美術館の巨匠たち」	平成17年3月19日 ～平成17年9月25日	106,529
「花鳥画の煌き－東洋の精華」	平成17年10月22日 ～平成18年5月21日	56,036
ボストン美術館所蔵 肉筆浮世絵展「江戸の誘惑」	平成18年6月17日 ～平成18年8月27日	97,005
「ヨーロッパ肖像画とまなざし 16 - 20世紀の顔」	平成18年9月16日 ～平成19年2月4日	47,817
「アメリカ絵画 子どもの世界」	平成19年3月17日 ～平成19年8月19日	40,529
「レンブラント版画展 －呼び交わす光と闇－」	平成19年9月8日 ～平成19年12月9日	40,209
「ボストン美術館 浮世絵名品展」	平成20年1月2日 ～平成20年4月6日	80,103
「クロード・モネの世界」	平成20年4月26日 ～平成20年9月28日	144,491
「ペリー&ハリス －泰平の眠りを覚ました男たち－」	平成20年10月2日 ～平成20年12月21日	17,756
「ゴーギャン展」	平成21年4月18日 ～平成21年6月21日	150,806
「愛と美の女神 ヴィーナス」	平成21年7月18日 ～平成21年11月23日	55,658
「永遠に花咲く庭 17 - 19世紀の西洋植物画」	平成21年12月12日 ～平成22年4月4日	28,668
「ザ・風景－変貌する現代の眼」	平成22年4月24日 ～平成22年9月12日	30,382
「ボストン美術館 浮世絵名品展 錦絵の黄金時代－清長、歌麿、写楽」	平成22年10月9日 ～平成23年1月30日	43,636

展覧会名	会期	入場者数
「響きあううつわ ー出光美術館日本陶磁コレクションー」	平成23年2月26日 ～平成23年3月27日	11,503
「ジム・ダイン 主題と変奏：版画制作の半世紀」	平成23年4月23日 ～平成23年8月28日	25,736
「恋する静物ー静物画の世界」	平成23年9月17日 ～平成24年2月19日	41,481
「What's an Icon of Style? 時代を彩るファッション」	平成24年3月17日 ～平成24年5月27日	42,431
「ボストン美術館 日本美術の至宝」 【前期】	平成24年6月23日 ～平成24年9月17日	155,763
「ボストン美術館 日本美術の至宝」 【後期】	平成24年9月29日 ～平成24年12月9日	109,229
「ドラマチック大陸 風景画でたどるアメリカ」	平成25年1月12日 ～平成25年5月6日	29,892
「アートに生きた女たち」	平成25年5月25日 ～平成25年9月29日	39,854
「北海道立近代美術館名品選 日本画を彩った巨匠たち ～大観、栖鳳、球子」	平成25年10月19日 ～平成25年12月1日	18,078
「ボストン美術館 浮世絵名品展 第三弾 北斎」	平成25年12月21日 ～平成26年3月23日	97,023
「開館15周年記念 ボストン美術館 ミレー展」	平成26年4月19日 ～平成26年8月31日	99,481
「美術する身体」	平成26年9月20日 ～平成26年11月30日	34,988
「ボストン美術館 華麗なるジャポニスム展」	平成27年1月2日 ～平成27年5月10日	77,908
「ボストン美術館×東京藝術大学 ダブルインパクト」	平成27年6月6日 ～平成27年8月30日	44,075
計		3,028,667

注 平成27年11月30日現在で終了した展覧会を計上

(2) 後半10年の収支見通し

区 分		実 績			
		21年度	22年度	23年度	24年度
収入の部	事業収入	225	65	53	284
	その他収入	100	85	78	89
収入合計 (A)		325	150	131	373
支出の部	展覧会関連事業費	556	500	483	543
	ボストン美術館寄附金	146	117	123	96
	管理費	78	77	71	69
支出合計 (B)		782	693	677	707
総合収支 (C=A-B)		△456	△543	△546	△334
寄附金収入等 (D)		85	83	79	72
その他収支 (E)		99	△3	△12	13
最終収支 (F=C+D+E)		△272	△463	△479	△250
期末預金・有価証券残高		5,549	5,087	4,608	4,358

(単位：百万円)

実 績		予 算	計 画		
25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
129	173	131	97	75	132
79	80	67	52	39	41
207	253	198	149	114	173
486	477	553	498	485	463
137	148	201	134	199	170
75	68	72	70	70	70
697	692	826	702	754	703
△490	△440	△627	△553	△640	△531
73	71	71	66	65	55
21	69	0	10	0	0
△396	△300	△556	△477	△575	△476
3,963	3,663	3,107	2,630	2,056	1,580

3 今後の課題

① 事業の継続性

- ・ 毎年4～5億円程度の赤字事業である
- ・ 多額の財政支援により経済界で支えるスキームは持続可能とは言えないという一部の理事・評議員の声がある

② 米国ボストン美術館との関係

- ・ 米国ボストン美術館や一部の理事・評議員から、契約期間満了後も、これまで培った関係を何らかの形で継承することを望む声がある

参考 施設の活用

契約期間満了に備えて、金山駅周辺のまちづくりに寄与できる施設を今後検討する